

# 検討背景・目的について

---

小規模飲食店に設ける厨房用自動消火装置等のあり方に関する検討部会(第1回)

# 検討の背景について

## 糸魚川市大規模火災

- 平成28年12月22日10時20分頃、新潟県糸魚川市、糸魚川駅北側に位置する木造建築物密集地域の飲食店より出火
- **出火原因: 大型こんろの消し忘れ**
- 焼損棟数147棟、焼損面積約30,412㎡、負傷者17人(うち消防団員15人)
- 強風により複数箇所飛び火が発生するなど、広範囲に延焼拡大

## 糸魚川市大規模火災を踏まえた今後の消防のあり方に関する検討会報告書<抜粋>

全国どこでも木造の建築物が多い地域においては、強風下で火災が発生し今回のような大規模な火災になり得る、という前提に立って必要な対策を検討すべきである。

### 早期覚知対策

29年度

<連動型住宅用火災警報器を活用した小規模飲食店等を含む隣接建物間での火災早期覚知の方法に関する検証>

○ 飲食店等で火災が発生した場合に、早期に覚知して近隣住民が協力して初期消火等を行うために、住宅用火災警報器を活用し、小規模飲食店等を含む隣接した建築物間で相互に火災警報を伝達する新たな方式の効果や課題を検証

○ 連動型住警器等を活用し隣接建物へ火災警報を伝える新たな設置方式として「**戸外警報方式**」が有効かつ取り組みやすい

### 早期覚知対策

30年度

<屋外警報装置等の技術基準検討会>

○ 住宅等における火災の早期覚知対策として、屋内の住宅用火災警報器と連動して火災発生を周囲に知らせる**屋外警報装置等**に求められる性能基準などの**ガイドライン策定**を目的として検討

### 出火・延焼防止対策

31年度

<飲食店等の防火安全対策検討部会>

○ 小規模な飲食店等の厨房に設ける**自動消火装置等の安全装置**の課題を整理し、自動消火装置等に求められる機能等を検討

# 糸魚川市大規模火災を踏まえた対応策



(糸魚川市消防本部提供)



(糸魚川市消防本部提供)

1. 総論 全国どこでも、**木造の建築物が多い地域**においては、**強風下**で、大規模な火災の可能性

2. 対応策 (1) 消防本部等で取り組むべきこと(H29.5.19付け長官通知等)

## 危険性が高い地域の確認・指定及び火災防ぎょ計画の策定推進

大規模な火災につながる危険性が高い地域を確認・指定し、**火災防ぎょ計画を策定することを推進**

必要なポンプ車の台数、使用する消防水利、車両の部署位置等を定め、計画に基づく訓練を実施

## 強風下における消防対策

強風下において迅速かつ的確な消火活動を行うために飛び火警戒を含めた**消火活動の具体的な要領を定めておくこと**や、地域の特性・弱点の分析が必要。

## 応援体制

- 管内の消防力を最大限出動させるのと同時に**応援要請**
- 代表消防本部等が**応援要請を代行**
- 隣接消防本部等が**応援要請を待たずに出動**
- 応援を行う際に管内の消防力が低下しないよう、**予備車の活用や消防団によるバックアップ**

## 消防水利

- 確認・指定した地域における消防水利の確保のための計画の策定を推進
- 地元建設業協会等との間で給水活動等についての**協定を締結**
- 海、河川などの**自然水利からの遠距離大量送水のためのスーパーポンパー※を整備**

※ 整備状況：21本部・50隊配置済  
送水能力：1km先に3,000L/分以上(通常のポンプ車は200m先に1,500L/分)

## 小規模飲食店への消火器設置の義務化

延べ面積**150m<sup>2</sup>**未満の飲食店にも消火器の設置を義務付ける方向で検討

## 連動型住宅用火災警報器

住宅用火災警報器を活用し、飲食店を含む**隣接建物間で相互に火災警報を伝達する新たな方式**の効果や課題を検証

## 消防団員の安全管理の再徹底

シールド付き防火帽などの**安全装備の充実**、**正しい着装の徹底**などの**安全管理の徹底**

(2) 消防庁の対応

- 地域を確認・指定するための手順・基準の提示(市街地火災延焼シミュレーションの活用等)(H29.7.31付け消・救課長通知)
- 計画のひな形の提示(H29.7.31付け消・救課長通知)
- 研修会の実施(H29年度全国14ブロックにて開催)
- 強風下における消防対策を提示(H29.12.22付け消・救課長通知)

- 応援体制を見直すための方策の提示(H29.7.31付け広応室長通知)

- 消防水利の確保について財政支援策の活用
- 協定締結の先進事例の紹介(H29.8.18付け消・救課長通知)

- 政令等の改正(H30.3.28改正政令等の公布)

- モデル事業の実施による検証(H29年度全国36地区にて実施)

- 安全装備の充実等について周知徹底(H29.5.19付け長官通知)

(3) 目指すべき姿

- 可能な限り早く・計画等の策定・協定締結を目指す
- 必要な資器材を整備



- 必要な消防水利の確保を目指す

- 初期消火対策の強化

- 検証結果に基づき展開を検討

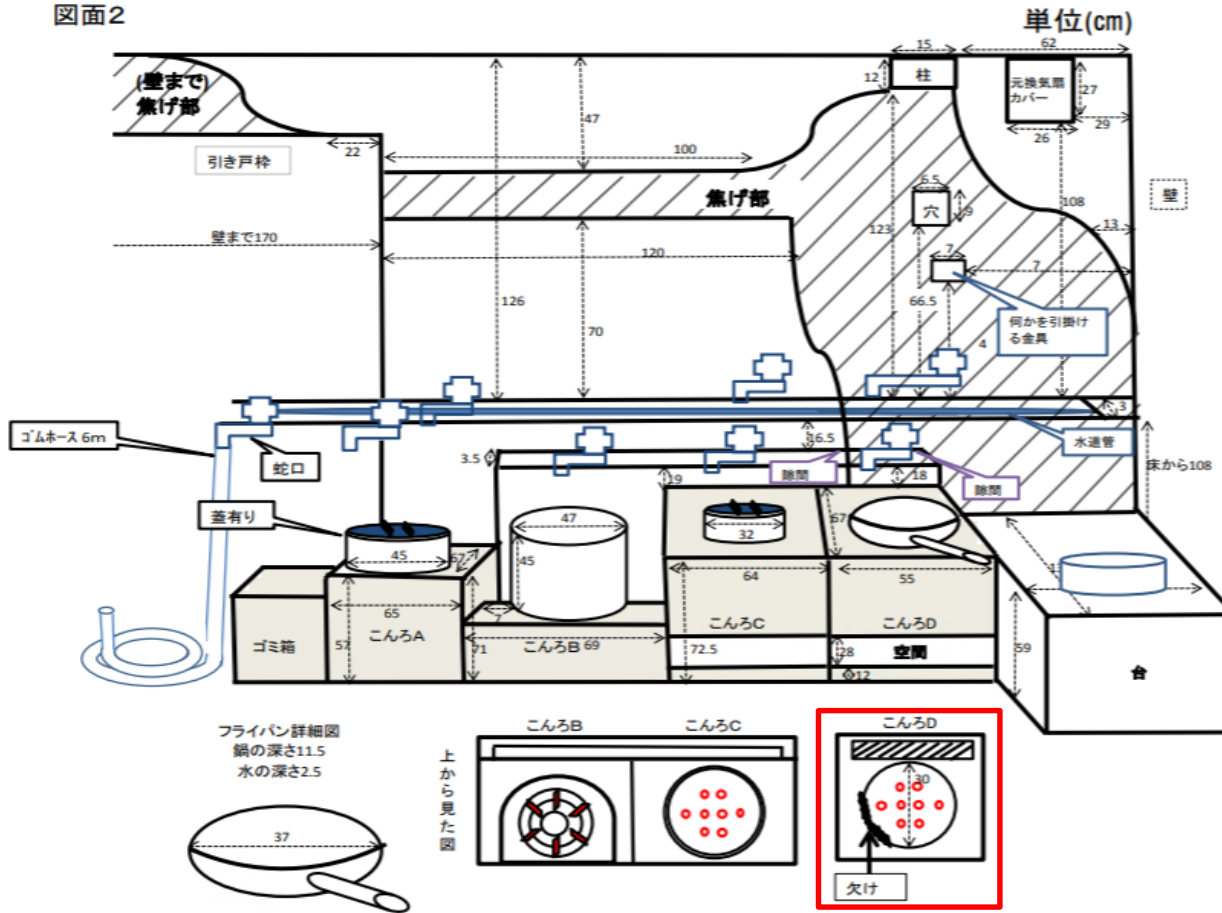
- 装備の充実などの安全管理の徹底 2





# 糸魚川市の火元店舗の状況②(参考資料)

図面2



火元こんろ



(出典:「糸魚川市大規模火災を踏まえた今後の消防のあり方に関する検討会」第1回 資料)より

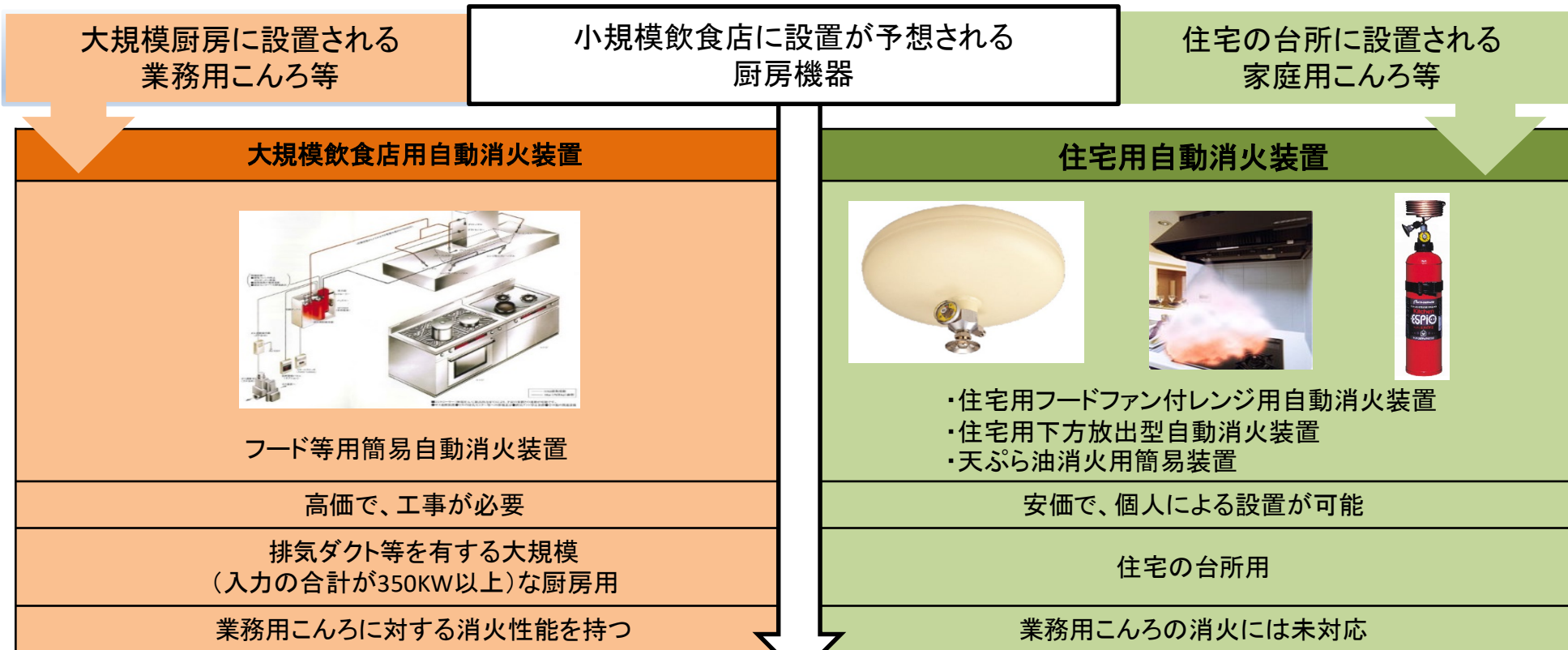
## ○出火時の経緯

こんろDに中華鍋を火にかけてたことを忘れ、その場を離れた間に出火した。その後、水道水により初期消火を試みるも失敗し延焼拡大に至った。

なお、消火器は設置(自主)されていたが使用されていない。

# 検討の目的について

こんろ火災の実態を踏まえると、自動消火装置が有効であり、現在、大規模な厨房を対象とした機器と住宅の台所を対象とした機器の大きく分けて2種類の自動消火装置に分けられるが、糸魚川市の火元となった小規模飲食店の厨房に適応するためには、改めて、必要とされる自動消火装置の性能について整理する必要がある。



(出典:各企業HPより)

必要とされる自動消火装置の性能の整理が必要

小規模飲食店の厨房に設置されるコンロに適応可能な**厨房用自動消火装置に求められる消火性能**やその他**厨房設備の防火安全対策のあり方**について次の検討を行う。

## <検討項目>

- 飲食店におけるこんろ火災の詳細な実態分析
- 小規模飲食店に設置される厨房機器等の実態把握
- 既存の厨房用自動消火装置の技術基準等の比較整理
- 自動消火装置に必要とされる消火性能の検証